

宮古市寄附金活用事業報告書（令和元年度）

平成30年1月1日から平成30年12月31日までにお寄せいただいた寄附金 95,147,930 円を活用させていただき、令和元年度に実施する以下の事業に活用させていただきます。



写真① 子どもたちが遊具で遊んでいる様子

01 子育て環境の充実に

□地域子育て支援拠点事業（寄附金活用額：2,156,195 円）

子育て支援センター、つどいの広場、ファミリーサポートセンターの設置・運営を行います。

□保育所等整備事業（寄附金活用額：2,000,000 円）

安全で安心な保育環境を確保するため、保育所の老朽化した遊具を更新します。

※写真①

02 産業の振興に

□地産地消推進事業（寄附金活用額：500,000 円）

市内の農業の実態を理解し、市内で生産されるさまざまな農産物の地産地消を推進するため、季節ごとに農業体験事業を実施します。

□林業体験推進事業（寄附金活用額：1,083,000 円）

植樹活動を通じて、林業への理解を深めてもらうとともに、樹木が作り出す栄養がいずれ宮古湾に注ぎ、海が豊かになることを実感してもらうため、私有林等を活用した森づくり体験学習会を実施します。



写真② 廻来船によるサンマの水揚げの様子

□廻来船誘致対策事業（寄附金活用額：10,825,550 円）

宮古市魚市場の水揚げは、廻来船が数量・金額とも大きな割合を占めていることから、関東、北陸、北海道、東北地区の船主や漁業協同組合などに対して、官民一体の誘致活動を行うとともに、廻来船や買受人が使用する氷に対して一定の助成を行い、水揚げの増大と加工原魚の確保を図ります。 ※写真②

03 自然環境の保全に

□住宅用太陽光発電システム導入促進事業（寄附金活用額：2,261,700 円）

環境に対する意識の高揚と再生可能エネルギーの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置経費の一部を補助します。

04 教育環境の充実に

□図書館蔵書整備事業（寄附金活用額：1,500,000 円）

市民の生涯学習活動を推進するため、図書館資料の整備と読書に親しむ環境づくりの推進を図ります。

□給食センター運営事業（寄附金活用額：1,017,411 円）

給食センターで使用する学校給食調理用備品の購入や給食配送車の更新を行います。



写真③ 湯澤郷土芸能保存会による湯澤鹿踊

05 地域文化の保存・伝承に

□郷土芸能事業（寄附金活用額：750,000 円）

歴史と風土に根ざした伝統ある郷土芸能を次世代へ継承するため、伝承活動に取り組んでいる団体に必要な経費の一部を補助します。 ※写真③

□文化財公開活用事業（寄附金活用額：648,149 円）

市民の文化財への理解を深めるため、崎山貝塚縄文の森ミュージアム等での企画展や講座の開催、体験ツアー等を開催します。

06 市長におまかせ

□国民健康保険事業（寄附金活用額：18,339,000円）

子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を整備するため、国民健康保険税のうち子どもの均等割を減免します。

□特定不妊治療費助成事業（寄附金活用額：10,000,000円）

特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

□育英事業（寄附金活用額：1,022,000円）

定住化促進を図るため、市内に住所を有し、宮古管内で就業している方に対し宮古市奨学資金貸付金（経済的な理由で就学困難な者に対して貸し付ける資金）の返還免除を行います。

□小中学校への教材等整備（寄附金活用額：4,700,000円）

教育環境の充実を図るため、小中学校で使用する教材・消耗品等の購入を行います。



写真④ 津波遺構と防災学習ツアースタッフ

07 東日本大震災からの復興に

□防災学習ツアー促進事業（寄附金活用額：8,000,000円）

震災の教訓を伝える防災学習ツアー「学ぶ防災事業」の運営を支援し、観光客の誘客を図ります。 ※写真④

□水産物消費拡大事業（寄附金活用額：3,186,000円）

水産物を活用した市内でのイベントの開催と、JR 目黒駅前で開催される「目黒のさんま祭り」をはじめとした全国で行われる各イベントへの参加などを通じて、宮古の水産物のPR活動を行います。 ※写真⑤

□復興推進スポーツチャレンジ事業（寄附金活用額：3,000,000円）

震災の影響により、運動する機会が少なくなっている子供たちに、身体を動かす楽しさや喜びを実感できる機会を提供します。 ※写真⑥

□心の復興事業（寄附金活用額：3,250,000円）

東日本大震災により被災した市民の心の復興を図ることを目的に、文化芸術鑑賞の機会を提供するための事業を実施します。

□文化振興事業（寄附金活用額：5,528,000円）

被災地支援活動により、小中学生への文化芸術鑑賞の機会を提供するための事業を実施します。

□中心市街地賑わい創出事業（寄附金活用額：1,500,000円）

平成30年度に完成した、市役所庁舎を含む複合施設「イーストピアみやこ」を中心とした市街地の賑わい創出に関する市民参加型の実証事業を実施します。



写真⑤ うまいもの市（神奈川県大和市）への出店の様子



写真⑥ 復興推進スポーツチャレンジ事業「高田道場」の様子

08 津波遺構（たろう観光ホテル等）の保存に

□津波遺構保存事業（寄附金活用額：12,685,282円）

津波で被災した「たろう観光ホテル」を、震災の教訓を後世に伝える津波遺構として保存整備するため、国の支援（復興交付金）により保存工事を実施しました。寄附金は、津波遺構保存基金に積み立て、維持管理などの費用に活用します。 ※写真④

09 平成28年台風10号による被害への対応に

□就学援助事業（寄附金活用額：1,195,643円）

被災に伴う経済的な理由により、就学困難な児童、生徒に対して、学用品費や給食費などを援助します。